

キャンドウ

CanDo アフリカ

特定非営利活動法人アフリカ地域開発市民の会(CanDo)会報 2021年9月 [第95号]



活動の方向性 **環境の取り組みについて**

永岡 宏昌

活動報告 マラウイでの活動—2021年6月～8月—

事務局から

写真は、燃料用の木材を運搬するトラック—2015年撮影

環境の取り組みについて

代表理事 永岡 宏昌

当会は、マラウイ共和国パロンベ県において、2021年2月から初等学校での保護者参加による教室建設事業を再開しました。コロナ禍で日本人スタッフは再入国ができない状況のため、日本からネット接続し、さまざまなアプリを活用して、毎日マラウイ人スタッフと会話しながら、工夫して事業を進めています。活動の目的は、ケニアと変わらず、地域の大人たちが、自律的に子どもたちの健康と教育を守れるように、知識や技術を身につけることです。地域の資源の活用によって自分たちで出来ることが多いと気づく活動、潜在的な意欲を活性化する協力でありたいと考えています。

マラウイでの教室建設の目標は、教室の不足の改善により低学年の子どもの中退を改善することです。そのために、保護者が建設知識や技術、合意形成や広範な運営管理能力を高めます。そして、地域の資源を活用しながら、環境保全につながっていくことを目指しています。

この環境の面では、2019年に活動を開始した当初から、焼成レンガではなく土壌安定化レンガを使用しています。地域の木を燃料として消費しません。学校から歩ける範囲で土・砂・水をみんなで収集し、少量のセメントと合わせて、強度のあるレンガを作ります。

保護者が自律的に製作できるよう研修を重ねてきました。また、土・砂の採集場所の位置情報をとり地図に記録し、写真を撮って変化を確認し、環境に影響が出るようであれば、県環境官が報告することにしました。

当初は、倉庫建設に続く教室建設でも、建設する学校が県内に分散していて、土や砂の収集は環境への影響が少ない、と県環境官は考えていました。けれども、7月にマラウイ環境保護庁より、この事業への環境社会管理計画の策定が指示されました。同計画は、環境に負の影響を与えることが懸念される事業について、地域関係者・住民の参加と同意のもとで、環境や地域社会への影響の範囲を評価し、予防や緩和のために策定するものです。

この指示を受けて、当会は計画策定の専門性を有するコンサルタントを探し、予算を見直して必要な経費を確保し、現地での計画策定の調査を準備しています。マラウイのコロナ感染は落ち着いている状況と判断し、永岡が出張して調査に参加します。

子どもたちは将来にわたって地域の自然環境に依拠していきます。この調査と計画策定を、地域の大人たちが自然環境を活用し、保全する視点や技術を広げていく機会にしたいと考えています。

マラウイでの活動—2021年6月～8月

2021年2月、当会は外務省日本NGO連携無償資金協力による「パロンベ県初等学校保護者参加による教室建設事業 第1年次」を開始。2020年に倉庫を建設*した13校のうち9校を対象として、2年の事業期間に2校で教室棟(2教室と2小部屋)、7校で1教室の建設完了を計画しています。保護者の参加度の評価から9校を優先候補校、4校を補欠候補校としました。5月までに、建設に使用するSSB(土壌安定化レンガ)の製作を開始した4校のうち2校で中間目標(説明は後述)を達成しました。

■建設リーダー(CL)座学研修

教室建設では、30人以上のCLの参加が条件です(関係者会議で、4月までに4校で確認)。満たさない学校では、保護者から新たな建設リーダー候補を選出し、座学研修(全4回)を行ないます。全回出席した候補を建設リーダー研修生に認定します。7月までに3校で確認。

■建設SSB製作

教室棟に必要なSSB18,900個の約半数、1教室の建設に必要な9,000個を基本のSSBとして、CLは製作の活動計画を立てます。計画の承認後、製作の覚書を締結。基本のSSB製作の中間目標を4000個として製作を

開始します。8月までに、もう1校(計3校)で完了(4校で進行中)。7月、残り5,000個の製作も2校で完了しました。

■教室棟建設の覚書

教室棟の建設では、40人以上の建設リーダーの参加が条件になります(満たない場合は、30人以上を目指したときと同じく、建設リーダー研修を行ないます)。7月に1校目、8月に2校目で締結しました。

■優先校の参加取り消し

教室建設の参加を取り消した優先候補校の1校に代わり、6月、補欠候補校の1番目の初等学校で話し合いを開始しました。建設リーダーが「2年間の参加はできない」ということで、参加は難しい状況で、補欠校の2番目にあたることになりました。

■環境社会管理計画の策定

7月、環境保護庁が県知事にこの事業の環境社会管理計画の策定*を指示。県知事から、コンサルタントを短期雇用して策定するよう、口頭での要請を受けました。同計画の承認を得るまでは、対象校において建設を開始しないことで合意しています。

*開始時に県環境官に確認した際は、地域資源である土・砂の利用は学校ごとなので分散して、策定は必要ないだろう、との見解でした。

事務局から

報告

◇組織

○8月28日、2021年度第2回理事会をZoomを利用したオンラインで開催。2021年度1月～7月活動報告、同東京事務所会計報告、および2021年度8月～12月活動計画について承認。2021年度1月～6月ボランティア事務所会計報告と会計監査がすんだ2020年度ボランティア事務所会計報告について審議し、条件をつけて承認しました。

◇業務委託

○6月15日、アスカ・ワールド・コンサルタント株式会社と、(独活)国際協力機構(JICA)との契約に基づきマラウイで実施する、「みんなの学校パイロットプロジェクト」の活動を当会が支援する業務委託契約を締結(～2022年1月6日)。情報提供、人材の紹介・提供、当会スタッフによる活動支援、活動資金の管理を行ないます。

◇国内活動

■10月9日(土)・10日(日)

グローバルフェスタ JAPAN 2021 に
オンラインで出展



2年ぶりのイベントに当会はオンラインで出展します。「リアル」の会場は、東京国際フォーラム E ホールです。詳細はウェブサイトをご覧ください。

<https://gfjapan2021.jp/>

■次号は12月に発行する予定です。

CanDo アフリカ [第95号]

2021年9月30日発行

発行人: 永岡宏昌 編集人: 佐久間典子
発行: 特定非営利活動法人アフリカ地域開発市民の会 (CanDo)
〒110-0001 東京都台東区谷中2-9-14 第2森川ビル B号室
電話: 03-3822-1041
電子メール: tokyo@cando.or.jp
ウェブサイト: <http://www.cando.or.jp/>
facebook: <http://www.facebook.com/candoafrica>
郵便振替: 口座番号 00150-2-15129 加入者名 アフリカ地域開発市民の会